

# 四月例会御案内

(平成三十年・通算第三七四回)

## 時代を刷新する会

○御案内

四月十七日(火)十一時半入館可、正午～午後二時 参議院議員会館地下一階B一〇九会議室

講題 安倍内閣の「内憂外患」のゆくえ

講師 今井 激先生(国際エコノミスト、古くから日本はじめ国際経済の分析で知られる)

いま世界は、アメリカ、イギリス、EUによる「経済制裁」の動きにのびている。ロシアプーチン政権も、数年前、ウクライナのクリミア半島に攻め込み占領したため、アメリカはじめEU諸国から経済制裁を受け、かなり経済的に苦勞している。北朝鮮も長年にわたり核開発し、長距離ミサイルを発射して、世界から経済制裁を受け、疲弊してきている。近年、特に、アメリカファーストを標榜するトランプ大統領がこの手段を活用し、TPPからの撤退ばかりではなく、前述の北朝鮮へは、この経済制裁を最大限活用している。そして、特にアメリカ経済の再生・活性化のためとして、中国を名指しで、鉄鋼・アルミニウムをはじめ中国からの輸入品に二十五%もの関税をかける宣言。日本をも例外としないという。これに対して報復として中国もアメリカからの商品に同様二十五%の関税をかけるとしている。こうして、世界は「貿易戦争」に突入する勢いだ。貿易立国の日本は、どうすれば良いか？

□そこで、今回は、今井激先生に御講話いただきます。奮っての御参加お待ちいたします。当日会費(昼食付き) 会員は四千円、非会員五千円。

### 時代を刷新する会

http://www.jidaiassin.jp

四月十七日(火)の月例会に

電話 03-3272-4320

FAX 03-3507-8587

出席 欠席 (いずれかに〇印を)

御芳名

貴方様のFAX

当日連絡先 080-8836-6203 重田

メール

080-9292-2620 高津

(メール不可・通話のみ)

▽四月十三日(金)までに出欠の御連絡賜りたく。

◎御報告

いま世界は、ロボット技術が急速に向上発達してきた。例えば、囲碁や将棋の最高有段者が、ロボットと対峙して負けるケースからも明らかである。さらに身近な問題として、自動車のAI化が急速で、もはや人間が操縦しなくても、すべて自動化できる時代となってきた。すると、もし自動車事故があったとき、どうなるか？ 過失致死傷が発生した場合、その処罰なり補償は、運転・操作する人間の責任が問えたが、すべて機械化したAI自動車となると、誰に責任が問えるのか？ 大きな問題となる。

そこで、今回は、本来は憲法学者であるが、法を踏まえて、こうした課題の研究をされている新保史生慶応義塾大学総合政策学部教授に、「AI(人工知能)時代の急速到来に、法制度の整備を急げ！」と題して、御講話いただいた。冒頭にうかがうと、新保先生は、百四十五にも及ぶ政府機関の委員を務めておられるとのこと、お忙しい中、来てくださったことに一同感謝した。新保先生の御講話の内容は、広範な分野にわたったが、その要旨を挙げると、まず、ロボットの定義の説明のあと、日本ではアニメなどで人型ロボットに慣れているが、欧米ではその宗教観から人形は悪と考える傾向がある。産業ロボットは技術的には日本がトップだが、出荷額・稼働台数などビジネス面では中国に抜かれている。精巧な事理弁識能力を有するロボットには法的人格を付与することも考えておく必要がある。また、AIが詐欺的行為をした場合に無効にできる法制も考える必要がある。自動車事故の場合には、車体メーカーか、装着されているカメラかマイクかセンサーか解析装置か、判断がむずかしい。都道府県・市区町村の行政窓口もAI化されるなど便利な面もあるが、悪用される場合、特に軍事面で悪用される場合も考えて置かなければならない等々、実に多くの問題点の御指摘があり、大層勉強になりました。(清原記)

▽「時代を刷新する会」とは

「何事も人類・国民のためになることは、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸信介元総理がそうであったように、超党派・超派閥で、真に国を憂える有志によって構成されています。八つの部会と、五〇六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府に提出している。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄衆議院議長、第四代会長の塩川塩川正十郎元財務大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として岸信夫衆議院議員、前外務副大臣。現在には衆議院議院運営委員会理事・自民党国会対策委員会副委員長が就任している。

▽事務局電話(03)3272-4320 専務理事・清原淳平、総務 重田典子、高津優介